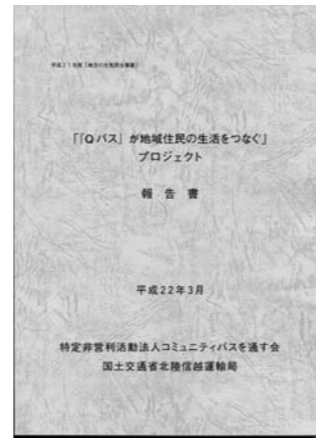


平成21年度 地方の元気再生事業  
「『Qバス』が地域住民の生活をつなぐ」プロジェクトに関する調査報告概要抜粋

■ 業務の目的

地域住民や地域内の企業従事者にもっと利用してもらうためには、利便性の高い運行方法等工夫が必要である。そこで、本事業では、Qバスの通勤通学利用の増加を図ることを目的に下記の取組について検討や実験運行を行うものである。



■ 実施した取組の内容

取組① 利用者の拡大に向けて

- (1) 様々な利用に対するアンケート調査の実施
    - ・実施時期：平成21年9月1日～10月15日
    - ・外出、通学のパターン及びコミュニティバス利用についてアンケート調査を新潟市西区内のQバス沿線の対象者：住民24,200名、学生4,900名に配布し、住民6,387名、学生1,882名から回答を得る。
  - (2) 「Qバスの利便性向上・利用促進に関する協議会」の開催
    - ・専門家を交えて次の内容を中心に3回開催した。
    - ①アンケートを基にした利便性向上・利用促進策
    - ②アンケートを基にした環境への効果
    - ③土日祝日実証運行を基にしたニーズの把握
    - ④来年度の運行計画、事業計画について
  - (3) 「走る美術館」の実施ーバス車内にて絵画作品の展示
    - ・実施時期：平成21年10月～平成22年3月
  - (4) 携帯電話向けホームページの開設
    - ・携帯電話向けホームページを開設し、Qバスの周知、路線図、時刻表等を発信した。
  - (5) 体験乗車券の配布
    - ・実施時期：平成21年10月～平成22年2月
  - 「走る美術館」関連団体に693枚、「収穫祭」時に814枚を配布した。
  - (6) ノーマイカーデーの実施、にいがたノーマイカー（エコ通勤）デーに協力
    - ・実施時期：平成21年10月19日～23日
  - (7) PR活動を実施
    - ・実施時期：平成21年11月～平成22年3月
- 検討結果等を踏まえ公共施設・企業等・一般市民に向けて会報、リーフレット、運行ポスターを配布し周知を図った。22年度も継続予定。

取組② 運行本数の増大に向けて“休日にもQバス”（土曜日、日曜日運行実験）

- (1) 土日祝日実証運行の実施
  - ・実施時期：平成21年12月～平成21年2月（30日間）
  - ・運行本数：外・内回り4便ずつ、土日祝日実証運行用時刻ダイヤ
- 土曜日と日曜日の運行を実施し、利用についての実態調査を行うものとする。併せて、区役所だより広報、PR時刻表を新聞折込配布、PR掲示用ポスターを公共機関、事業所などに配布し認知に努めた。
- (2) 大規模商業施設との連携（収穫祭の実施、体験乗車券の配布）
  - ・休日のバス利用の促進を行うものとして、平成21年12月5日、6日の二日間、沿線の大規模商業施設「新潟サティ」の協力を得て、①地元農産品を使ったとん汁の提供、②西区産コシヒカリのサンプリング配布、③広報ブースを出店し時刻表パンフ配布、体験乗車券枚配布を行い、沿線の大規模商業施設との連携の第一歩となった。

取組③ バスターミナル設置に向けての検討

- (1) 「バスターミナル設置に向けての検討会」開催
  - ・バスターミナルの機能、設置位置に関する事項について広範若しくは専門的な見地から検討、及びとりまとめを行うため、地域住民、交通事業者、企業、地域振興（農業）に関係する団体などの各代表者等で組織する「検討委員会」を3回開催した。
  - ①バスの利用増につながる施設（機能）について
  - ②バスターミナルの機能を踏まえて設置位置
  - ③バスターミナル設置案の比較とまとめ
- 以上の検討結果を踏まえ、「調査検討結果報告書」作成を行い、将来、バスターミナル設置の環境が整った場合にNPOとしての整備方針を持つことが出来た。
- (2) 先進地視察
  - ・実施時期：平成21年11月25日、26日・視察場所：輪島市道の駅「ふらっと訪夢」バスターミナル、珠洲市役所、（仮称）「能登すずなり」バスターミナル、能登空港バスターミナル

事務所にて報告書を開示しております。どうぞご覧になって下さい。

# 平成21年度運行収支報告 — 収支率は28.2% — 1年間ご利用下さいましてありがとうございました。

平成21年度 坂井輪コミュニティバス運行収支表（4月～3月）

月	収入/円	NPO券	収入合計/円	人員	日数	走行キロ	キロ単価/円	経費額計/円	収支率/%
4	291,500	9,282	300,782	1,560	21	3,612	321.55	1,161,438	25.9
5	278,500	8,190	286,690	1,448	18	3,096	321.55	995,518	28.8
6	333,450	10,556	344,006	1,734	22	3,784	321.55	1,216,745	28.3
7	331,100	12,740	343,840	1,798	22	3,784	321.55	1,216,745	28.3
8	259,900	10,920	270,820	1,498	21	3,612	321.55	1,161,438	23.3
9	257,300	16,744	274,044	1,462	19	3,268	321.55	1,050,825	26.1
10	276,550	8,918	285,468	1,730	21	3,612	321.55	1,161,438	24.6
11	274,200	14,560	288,760	1,529	19	3,268	321.55	1,050,825	27.5
12	346,650	12,740	359,390	1,751	20	3,440	321.55	1,106,132	32.5
1	311,200	12,012	323,212	1,642	19	3,268	321.55	1,050,825	30.8
2	322,700	13,286	335,986	1,749	19	3,268	321.55	1,050,825	32.0
3	358,550	14,742	373,292	2,098	22	3,784	321.55	1,216,745	30.7
合計	3,641,600	144,690	3,786,290	19,999	243	41,796	321.55	13,439,499	28.2

平成21年度 収支率 28.2%
運行経費総額 13,439,499円
新潟市より7割補助 9,407,649円
運賃収入（実績） 3,641,600円
差し引き法人負担額 390,250円

〈参考〉

平成20年度 収支率 20.4%
運行経費総額 19,676,845円
新潟市より7割補助 13,773,791円
運賃収入（実績） 3,939,448円
差し引き法人負担額 1,963,606円

## 運行収支が大幅改善

Qバスの2年目がおかげさまで無事に終えることができました。ご乗車ならびにご協力に感謝いたします。今回は目標（収支率30%）に届きませんでした。しかし、「地方の元気再生事業プロジェクト」取り組みの成果（3ページ参照）や委託先変更による経費削減により、H20年度収支率20.4%から大幅に改善し、収支率30%を目指せる環境が整ってきました。引き続き、多くの皆様にご乗車と促進の声掛けをよろしくお願ひします。

## 22年度も多くの皆様のご利用をお願いします。

\*\*\* 3割までもうひとふんばり \*\*\*

- 本年度は増便（特に通勤・通学時間帯）を目指すため、実証運行を行う予定です。
- CO2発生抑制と運行拡大のための「ノーマイカーデー」を新潟市と協力して行う予定です。
- 便利なバスにするためにニーズを踏まえた運行形態となるよう不断の見直しを図っていきます。
- 私達は皆様が便利で豊かな生活をこの坂井輪でできるようにするため、努力しています。
- 皆様のご理解、ご協力、そして乗車することがさらなる利便性向上に結びつくこととなります。